

弘前大学学報



資料館第5回企画展

第 123 号
平成26年6月号

学内ニュース

| | | |
|--|-------|----|
| ○「弘前大学表彰」表彰式を挙 | ----- | 1 |
| ○名誉教授称号授与式を挙 | | |
| ～清水明氏ら15名に名誉教授の称号を授与～ | ----- | 3 |
| ○「青森県の観光国際戦略に係る説明会」を開催 | ----- | 4 |
| ○弘前大学資料館第5回企画展 | | |
| 「官立弘前高等学校の日々写真が伝える寮生活」開催 | ----- | 5 |
| ○特定プロジェクト教育研究センター | | |
| 「北日本考古学研究センター」「地域未来創生センター」看板上掲 | ----- | 6 |
| ○学園都市ひろさき高等教育コンソーシアム | | |
| 「学都弘前学生地域活動事業成果発表会」を開催 | ----- | 7 |
| ○男女共同参画推進室 | | |
| 「平成26年度第1回さんかくカフェ」を開催 | ----- | 8 |
| ○山中文部科学事務次官が本学を訪問 | ----- | 9 |
| ○インドネシア・セミナー講演会を開催 | ----- | 10 |
| ○平成26年度弘前大学学生ボランティア活動助成団体 採択書交付式を実施 | ----- | 11 |

| | | |
|------------|-------|----|
| 諸会議 | ----- | 12 |
|------------|-------|----|

人 事

| | | |
|-------|-------|----|
| ○人事異動 | ----- | 15 |
|-------|-------|----|

| | | |
|-------------|-------|----|
| 主要日誌 | ----- | 16 |
|-------------|-------|----|

| | | |
|-------------|-------|----|
| 学内規則 | ----- | 17 |
|-------------|-------|----|

「弘前大学表彰」表彰式を挙

本学では、教育研究活動、課外活動の振興、医療活動、教育研究支援活動、大学改革の推進、社会活動、職員の模範となるような活動等において顕著な功績があった本学職員・団体及び本学との産学連携、社会連携又は教育若しくは文化活動において顕著な功績があった学外の方を「弘前大学表彰」により表彰しています。

今回は、顕著な功績があると認められた8名の本学職員及び3つの学内の団体が「弘前大学表彰」により表彰されることとなり、6月2日（月）午前10時から事務局大会議室において表彰式が執り行われ、佐藤学長から表彰者に対し表彰状及び記念品が授与されました。

表彰者は次のとおりです。

【学内・個人】

○関根 達人

平成20年4月から人文学部亀ヶ岡文化研究センター長として、北東北北海道地域に分布する縄文遺跡群の調査研究保存伝承等の事業や専門研究等をとおして、当該分野において多大な学術的貢献を果たしたことが、教育研究活動において顕著な功績であると認められたもの

○上野 伸哉

てんかんの病態解明と治療法の開発の分野において、モデル動物を用いて発症機構を解明し、発症以前に細胞レベルの異常を補正することにより発作・発症を抑制することを発見し、てんかん予防戦略の新たな展開に寄与したことが、教育研究活動において顕著な功績であると認められたもの

○伊藤 悦朗

急性巨核芽球性白血病の新規原因遺伝子を発見し、本症の発生メカニズムの全容解明に大きく寄与した上、この白血病の前段階から発症までの進行過程の確認は世界初であり、本症の診断治療に大きく貢献することが期待されることが、本学における教育研究活動において顕著な功績であると認められたもの

○鷲坂 将伸

新規機能性分子集合体の開発と応用、そして分子設計の新しい概念の創出を行い、その研究業績により多くの競争的資金を獲得し、平成26年日本化学会コロイド及び界面化学部会科学奨励賞をはじめ多くの学会関連の賞を受賞したことが、教育研究活動において顕著な功績であると認められたもの

○鳥飼 宏之

女子高校生を対象に体験学習事業を実施し、独立行政法人科学技術振興機構サイエンスパートナーシッププログラムとして採択される等、理工学部における女子学生に対するキャリア形成支援活動に貢献してきたことが、教育研究活動において顕著な功績であると認められたもの

○原田 竹雄

リンゴのエチレン合成酵素に関わる遺伝子型を研究し、この対立遺伝子型の違いが果実成熟時のエチレン発生量を決定し、収穫前落果性の有無を規定していることを解明したことなどにより、平

成25年度日本育種学会賞を受賞したことが、教育研究活動において顕著な功績であると認められたもの

○比留間 潔

昆虫の脱皮変態が、「幼若ホルモン」と「エクダイソン」の2種類のホルモンにより引き起こされるメカニズムを解明したばかりでなく、発生物学上の重要な新知見を多く発見したことにより、日本応用動物昆虫学会賞を受賞したことが、教育研究活動において顕著な功績であると認められたもの

○小林 一也

プラナリアの同一種の中に、有性生殖しか行うことができない個体と無性生殖へも転換できる個体が存在することを実験によって示し、日本動物学会から2013年度論文賞及び藤井賞を受賞したことが、教育研究活動において顕著な功績であると認められたもの

【学内・団体】

○緊急被ばく医療現職者研修実行委員会

平成22年度から、現職の看護職者及び診療放射線技師を対象に緊急被ばく医療に必要な知識とスキルに関する研修を実施し、本年3月には弘前大学出版会から「被ばく患者対応トレーニングマニュアル」を発刊したことが、教育研究等支援活動において顕著な功績であると認められたもの

○「地質の日」in弘前

一般市民に「地質」に関わる聴講や実験体験の場を提供し、小中学生の科学への興味を強め、理科離れの低減に貢献する等、科学教育及び地域発展において多大な貢献をしたことが、社会活動において顕著な功績であると認められたもの

○青森キャンパス事務部

青森キャンパスの開設において、新設である北日本新エネルギー研究所及び食料科学研究所における教育研究活動の円滑な運営において多大な貢献があったことが、教育研究等支援活動において顕著な功績であると認められたもの



佐藤学長（前列左から5番目）と被表彰者及び列席者

名誉教授称号授与式を挙

～清水明氏ら15名に名誉教授の称号を授与～

本年3月31日限りで定年退職され、教育上又は学術上特に功績のあった15名の本学元教授に「弘前大学名誉教授」の称号が授与されました。これにより、平成26年4月1日現在における本学名誉教授の称号を授与された方は295名となりました。

名誉教授称号授与式は、6月2日（月）午前11時30分から関係学部長、研究科長等列席の下、創立50周年記念会館岩木ホールにおいて執り行われ、佐藤学長から一人ひとりに辞令書が交付されました。

また、授与式終了後、同会館において懇談会が開かれました。

名誉教授の称号を授与された方は次のとおりです。

- | | |
|------------------|-------------------|
| ・清水 明（人文学部） | ・倉 又 秀 一（理工学研究科） |
| ・長谷川 成一（人文学部） | ・佐 藤 魂 夫（理工学研究科） |
| ・村 松 恵 二（人文学部） | ・鶴 見 實（理工学研究科） |
| ・麓 信義（教育学部） | ・佐 原 雄 二（農学生命科学部） |
| ・加 藤 陽 治（教育学部） | ・石 黒 誠 一（農学生命科学部） |
| ・安 藤 房 治（教育学部） | ・菊 池 英 明（農学生命科学部） |
| ・八木橋 操 六（医学研究科） | ・神 田 健 策（農学生命科学部） |
| ・松 本 光比古（保健学研究科） | |



名誉教授称号授与式の様子

「青森県の観光国際戦略に係る説明会」を開催

青森県との連携推進事業として幹部級職員を主な対象とした「青森県の観光国際戦略に係る説明会」を6月9日（月）、創立50周年記念会館 岩木ホールで開催しました。

この説明会は、地域志向を目指す本学と青森県との連携を一層充実させるため、先に行われた青森県基本計画に関する説明会に続き、第2回目として青森県が進める観光国際戦略の内容や方向性、関連事業等を理解し、今後の本学におけるグローバル化の企画立案や推進に役立てていくことを目的として開催されました。

説明会には、佐藤学長をはじめ、役員、部局長、教育研究評議員ら約40名の幹部職員らが出席しました。説明者の青森県観光国際戦略局 高坂 幹次長から、観光立県でもある青森県が外国人観光客を増やすために取り組んでいる事業や、りんごを中心とした青森県産品の輸出拡大戦略等、青森県の有する地域の特性を活かしたグローバル戦略について説明が行われ、本学には、さらなる事業拡大のために今まで以上の連携、協力をお願いしたいとの要望がありました。

説明会後半には、留学生への期待や、新たなマーケットの開発などに関する活発な質疑応答が交わされ、出席者の関心の高さを感じさせるとともに、本学と青森県との今後のさらなる連携強化が期待されます。



青森県観光国際戦略局 高坂幹次長による説明



佐藤学長による質問の様子

弘前大学資料館 第5回企画展 「官立弘前高等学校の日々－写真が伝える寮生活－」開催

6月9日（月）から8月29日（金）まで、弘前大学資料館 第5回企画展「官立弘前高等学校の日々－写真が伝える寮生活－」を開催しています。

ご寄贈いただいた官立弘前高等学校の写真と共に、本学が所蔵する他の写真も加えて、官立弘前高等学校生が過ごした日々を追想する展示となっております。この機会にぜひご覧ください。

会 期： 2014年6月9日（月）～8月29日（金）
（日・祝・休日は休館しています）
時 間： 10:00～16:00
場 所： 弘前大学資料館 企画展示室



会場内の様子

特定プロジェクト教育研究センター 「北日本考古学研究センター」「地域未来創生センター」の看板上掲

6月10日（火）、今井人文学部長、関根北日本考古学研究センター長により「北日本考古学研究センター」の看板が上掲されました。北日本考古学研究センターは、亀ヶ岡文化研究センターの機能を発展・強化させる目的で、2014年4月に弘前大学特定プロジェクト教育研究センターとして人文学部に新設されました。同センターは、文化財科学を中心に、古環境学、地球科学、農学の多領域にまたがる文理融合的な研究機能を拡大し、今後、北日本の考古学研究の中心的役割を果たすことを目指します。

同日、今井人文学部長、李地域未来創生センター長により「地域未来創生センター」の看板が上掲されました。地域未来創生センターは、雇用政策研究センターの活動を母体として2014年4月に弘前大学特定プロジェクト教育研究センターとして人文学部に新設されました。同センターは、文化資源の開拓と地域文化の活用、地域づくり総合研究、震災復興・災害研究等、幅広い領域をカバーする研究組織として、今後、地域が抱える課題解決の方策を探っていきます。



今井人文学部長（左）と関根センター長（右）による北日本考古学研究センター看板上掲



今井人文学部長（左）と李センター長（右）による地域未来創生センター看板上掲

学園都市ひろさき高等教育機関コンソーシアム 「学都弘前学生地域活動事業成果発表会」を開催

本学を含む弘前市内の6大学が加盟している学園都市ひろさき高等教育機関コンソーシアムでは、「学都弘前学生地域活動事業成果発表会」を弘前市と共催で、6月11日（水）に創立60周年記念会館コラボ弘大8階の八甲田ホールで開催しました。

この発表会では、弘前市が学生団体の地域活動を促進し、学生ならではのアイデアを地域振興につなげることを目的として実施した「平成25年度学生地域活動支援事業」に採択された7つの学生団体の代表から、実施したいろいろな地域活動の成果が報告されました。

当日は、弘前市民をはじめ6大学の教職員、学生ら約60名の参加者があり、各団体の発表内容を熱心に聞いていました。また、本コンソーシアム企画運営委員会委員長である森 樹男 人文学部教授からの講評では、「学生達には今後もこのような地域活動をとおして弘前市に『足跡』をたくさん残してほしい」との期待が述べられました。

引き続き、弘前市職員から平成26年度学生地域活動支援事業の概要説明が行われ、学生団体による地域活動の益々の活性化が期待されます。



発表会の様子



人文学部 森 樹男教授による講評

男女共同参画推進室 「平成26年度第1回さんかくカフェ」を開催

男女共同参画推進室では、「学長と語り合う～男女ともに働きやすい・学びやすい弘前大学～」をテーマとした平成26年度第1回「さんかくカフェ」を、6月11日（水）に弘前大学創立50周年記念会館2階岩木ホールで開催しました。

この「さんかくカフェ」には、佐藤学長、大河原社会連携担当理事をはじめ、教職員・学生ら計26名が集まり、男女共同参画の現状や悩みを車座で語り合いました。参加者からは、子育て中の職員を職場で支援することにジレンマを感じるなどの意見や、職員の子育てと仕事の両立を「職場で」支援するだけでなくその「職場それ自体を」いかに支援するのかについて、活発な意見交換が行われました。

佐藤学長からは、「男女共同参画が当たり前の社会」を目指す必要性とともに、周囲の支援環境を気軽に活用できる職場づくりの重要性が述べられました。

参加者は、本学の男女共同参画に関する課題を共有すると同時に、解決策について皆で知恵を出しあう楽しさや、可能性を感じたひと時となりました。



さんかくカフェの様子



右から、日景男女共同参画推進室長、佐藤学長、大河原社会連携担当理事、山崎研究推進部長

山中文部科学事務次官が本学を訪問

山中事務次官が、6月19日（木）に本学を訪問し、佐藤学長ら役員等と、本学におけるガバナンス改革、教育研究及び地域貢献等、様々な取組状況について意見交換を行いました。その中で、山中次官は、「ガバナンス改革について、学長がリーダーシップを発揮し、主体的に実施している。今後、弘前大学が魅力ある地域づくりの拠点となる大学となり、多くの若者がこの地に来て、そして多くの若者がこの地に残ってくれるような地域づくりに貢献してほしい」と期待を寄せました。

また、資料館では、担当者から各展示品について説明を受け、本学の前身である官立弘前高等学校出身の太宰治が在学中に使用したノート（原本）等を見学しました。

その後、革新的イノベーション創出プログラム（COI STREAM）「脳科学研究とビッグデータ解析の融合による画期的な疾患予兆発見の仕組み構築と予防法の開発」の取組や附属病院の運営状況について、中路医学研究科長、藤病院長からの説明を熱心に聴いた後、被ばく医療に対応した高度救命救急センター、ヘリポート、手術支援ロボット（ダヴィンチ）等を視察しました。



学長室で意見交換する㊦山中次官
(右から2人目 佐藤学長)



資料館で太宰治のノート（原本）を
見学する㊦山中次官（㊦ 佐藤学長）



被ばく医療機器（高度救命救急センター内）
を視察する㊦山中次官（㊦ 佐藤学長）

インドネシア・セミナー講演会を開催

6月24日（火）、国際連携本部主催によるインドネシア・セミナーを、弘前大学創立50周年記念会館において開催しました。このセミナーは、本学の国際交流事業の一環として、インドネシア大使館文化担当官のイクバル・ジャワド氏を講師としてお招きし、本学学生や教職員を対象とした講演を行ったものです。

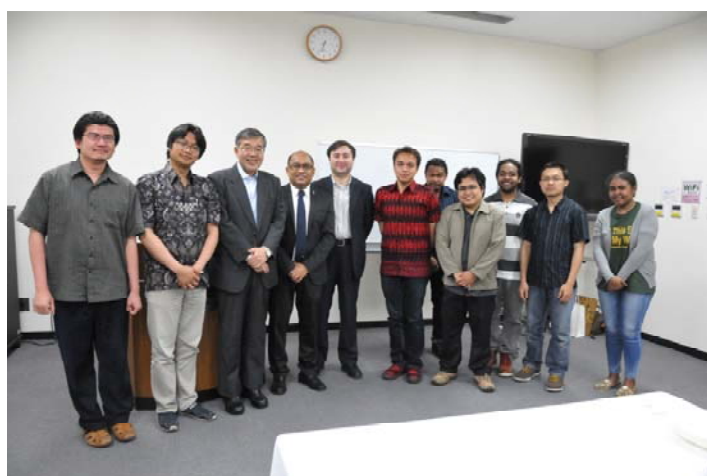
ジャワド氏は、佐藤学長を表敬訪問後、教職員を対象とした「Strategy for Human Development of Indonesia in the Future: Case of Higher Education」（これからのインドネシアにおける人材育成戦略：高等教育について）」と題した特別講演を行い、インドネシアの高等教育機関数や学生数などの現状を紹介しました。

また、スマトラ島やカリマンタン島に新しい大学をつくり、充実した教育環境づくりを進めていることなど、今後の方針を語り、参加した約70名の教職員及び学生は、普段直接聞くことが出来ない海外の話に熱心に耳を傾けていました。

また、講演会終了後、インドネシアからの留学生も参加した交流会が開催され、活発な質問と意見交換が行われました。



講演するインドネシア大使館文化担当官のイクバル・ジャワド氏



インドネシアからの留学生達との交流会

平成26年度弘前大学学生ボランティア活動助成団体 採択書交付式を実施

学内外でボランティア活動を実施している学生団体への活動助成費採択書交付式を、6月25日（水）事務局2階特別会議室で行いました。

交付式では、学長から今年度申請のあった9団体の各代表者1人ひとりに、活動助成費採択書が手渡されました。

佐藤学長から、「今皆さんが行っているそれぞれのボランティア活動は、将来社会で生活していく上で、間違いなく役に立つものである。このような活動ができることへの感謝の気持ちを忘れないように、今後もますます元気に活躍してください。」と学生の今後の活動に対する期待を祈念する言葉が贈られました。

交付式に引き続いて懇談会が行われ、各団体代表者から、普段から困っていることや大学に支援してほしいことなどを中心に、忌憚のない意見交換を行い、今後の学生ボランティア活動支援体制の充実を図るためのヒントを得ることができました。



佐藤学長（前列中央）、伊藤教育担当理事（前列右）、伊藤学務部長（前列左）
及び採択された学生ボランティア団体の代表者（後列）

■ 諸 会 議

▼役員会

6月2日（月）

審議事項

- 1 国立大学法人弘前大学業務方法書の一部改正について
- 2 弘前大学大学院医学研究科規程の一部改正について
- 3 平成25事業年度に係る業務の実績に関する報告書（案）について
- 4 学位記授与式及び入学式の実施について
- 5 平成27年度概算要求について（施設整備費等）
- 6 平成27年度入学者選抜要項について
- 7 平成28年度入学者選抜方法及び実施教科・科目等について
- 8 被ばく医療人材育成推進連絡協議会要項の制定について

報告事項

- 1 学部改組について
- 2 福利厚生スペースについて
- 3 平成26年度弘前大学研究サポートスタッフ派遣制度の実施について
- 4 平成26年度弘前大学若手・新任研究者支援事業の公募について
- 5 平成26年度弘前大学科研費獲得支援事業の公募について
- 6 平成26年度弘前大学レンタルラボ入居者の決定について
- 7 本学HP教職員公募情報トップページへの男女共同参画に係るポジティブアクション文言の掲載について
- 8 男女共同参画推進室「さんかくカフェ～学長と語り合う」について
- 9 コンソーシアム共催事業「学都弘前」学生地域活動事業成果発表会について
- 10 医学部医学科の編入学について

6月23日（月）

審議事項

- 1 職員の懲戒等について
- 2 国立大学法人弘前大学職員懲戒等委員会において調査・審査すべき事案について
- 3 COI研究推進機構教員（准教授）の選考について
- 4 平成25事業年度決算について
- 5 平成27年度概算要求について

報告事項

- 1 弘前大学の改革プランについて
- 2 平成27年度医学部入学定員増に関する意向調査について
- 3 平成26事業年度会計監査人の選任について
- 4 第1回市民ボランティア講座（26年7月4日開催）について
- 5 平成25年度監事監査報告について
- 6 平成26年度医学部附属病院の経営目標について
- 7 年俸制の導入について
- 8 平成26年度のねふた運行について
- 9 附属病院に係る訴訟について

▼教育研究評議会

6月10日（火）

審議事項

- 1 平成25事業年度に係る業務の実績に関する報告書（案）について
- 2 平成27年度入学者選抜要項について
- 3 平成28年度入学者選抜方法及び実施教科・科目等について
- 4 大学間交流協定の更新について
- 5 弘前大学大学院医学研究科規程の一部改正について

報告事項

- 1 第3期中期目標・中期計画の策定方針等について
- 2 第2期中期目標期間の業務の実績に関する報告書等の作成について
- 3 福利厚生スペースについて
- 4 平成26年度ドリーム講座の実施について
- 5 平成26年度弘前大学機関研究の公募について
- 6 平成26年度弘前大学研究サポートスタッフ派遣制度の実施について
- 7 平成26年度弘前大学若手・新任研究者支援事業の公募について
- 8 平成26年度弘前大学科研費獲得支援事業の公募について
- 9 平成26年度弘前大学レンタルラボ入居者の決定について
- 10 平成26年度「科学者発見プロジェクト」の募集について
- 11 コンソーシアム共催事業「学都弘前」学生地域活動事業成果発表会について
- 12 平成25年度卒業・修了者の進路状況について
- 13 本学HP教職員公募情報トップページへの男女共同参画に係るポジティブアクション文言の掲載について
- 14 男女共同参画推進室「さんかくカフェ～学長と語り合う」について
- 15 委員会等報告
 - (1) 教育委員会報告
 - (2) 入学試験委員会報告
 - (3) 21世紀教育センター運営委員会報告
- 16 その他
 - (1) 弘前大学資料館第5回企画展について

▼教育委員会

6月25日（水）

審議事項

- 1 卒業生・企業等アンケート調査の実施について
- 2 卓越した学生に対する授業料免除について
- 3 その他

報告事項

- 1 PROG（PROGRESS REPORT ON GENERIC SKILLS）テストの実施について
 - 2 平成26年度前期授業料免除者について
 - 3 平成25年度懲戒処分について
 - 4 平成26年度課外活動団体について
 - 5 日本学生支援機構奨学生の追加推薦について
 - 6 公立学校等教員採用候補者選考大学推薦候補者の選考について
-

▼研究委員会

5月28日（水）

報告事項

- 1 平成26年度弘前大学機関研究の公募について
- 2 平成26年度弘前大学研究サポートスタッフ派遣制度の実施について
- 3 平成26年度弘前大学若手・新任研究者支援事業の公募について

6月20日（金）

報告事項

- 1 平成26年度弘前大学サポートスタッフ派遣制度の派遣決定について
- 2 平成26年度弘前大学若手・新任研究者支援事業の公募について
- 3 平成26年度弘前大学科研費獲得支援事業の公募について
- 4 平成26年度弘前大学レンタルラボ入居者の決定について
- 5 平成26年度「科学者発見プロジェクト」の募集について
- 6 研究倫理の整備に向けた情報収集活動について
- 7 地域共同研究センター運営委員会の報告について
- 8 機器分析センター運営委員会の報告について

人 事 異 動

[命]

| 発令年月日 | 現職(所属) | 氏名 | 異動内容 |
|-----------|--------|-------|-------------------------------|
| 平成26年6月1日 | 病院長 | 藤 哲 | 教育研究評議会評議員 [H28. 3. 31まで] |
| 平成26年6月1日 | 教授(医) | 土田 成紀 | 機器分析センター副センター長 [H28. 3. 31まで] |

[休職]

| 発令年月日 | 現職(所属) | 氏名 | 異動内容 |
|-----------|--------------|-------|---------------------|
| 平成26年6月1日 | 一般職員(財務・予企室) | 島田 裕介 | 休職更新 [H26. 7. 31まで] |
| 平成26年6月1日 | 助教(医) | 藤田 雄 | 休職開始 [H28. 3. 29まで] |

[育児休業]

| 発令年月日 | 現職(所属) | 氏名 | 異動内容 |
|------------|------------|--------|-----------------------|
| 平成26年6月1日 | 一般職員(農生) | 篠村 暁菜 | 職務復帰 |
| 平成26年6月1日 | 助産師(病院・看護) | 鈴木 福美 | 職務復帰 |
| 平成26年6月12日 | 助産師(病院・看護) | 三浦 麻依子 | 育児休業開始 [H27. 3. 31まで] |
| 平成26年6月13日 | 助産師(病院・看護) | 對馬 悠夏 | 育児休業開始 [H29. 3. 31まで] |
| 平成26年6月30日 | 看護師(病院・看護) | 稲葉 俊哉 | 育児休業開始 [H26. 7. 26まで] |

[離職]

| 発令年月日 | 現職(所属) | 氏名 | 異動内容 |
|------------|------------|-------|------|
| 平成26年6月12日 | 教授(理工) | 福田 眞 | 死亡 |
| 平成26年6月30日 | 教授(医) | 黒田 直人 | 辞職 |
| 平成26年6月30日 | 助教(医) | 伊藤 忠 | 辞職 |
| 平成26年6月30日 | 助教(病院) | 三浦 卓也 | 辞職 |
| 平成26年6月30日 | 助手(病院) | 川村 知紀 | 辞職 |
| 平成26年6月30日 | 助手(病院) | 島田 拓 | 辞職 |
| 平成26年6月30日 | 看護師(病院・看護) | 新屋 沙織 | 辞職 |
| 平成26年6月30日 | 看護師(病院・看護) | 道川 暁子 | 辞職 |
| 平成26年6月30日 | 看護師(病院・看護) | 村上 真唯 | 辞職 |

■ 主要日誌

- 6月2日 役員会
「弘前大学表彰」表彰式
名誉教授称号授与式
- 9日 青森県の観光国際戦略に係る説明会
弘前大学資料館第5回企画展（～8月29日）
- 10日 教育研究評議会
北日本考古学研究センター、地域未来創生センター看板上掲
- 11日 学都弘前学生地域活動事業成果発表会
平成26年度第1回さんかくカフェ
- 19日 山中文部科学事務次官来学
- 20日 研究委員会
- 23日 役員会
- 24日 インドネシア・セミナー講演会
- 25日 教育委員会
平成26年度弘前大学学生ボランティア活動女性団体採択書交付式

■ 学内規則

(平成26年6月6日一部改正)

○国立大学法人弘前大学自家用自動車使用内規

福島県浪江町復興支援室を拠点として業務を行う上で、福島県内を自家用自動車で移動する必要があるため、上記の内規の一部を改正した。

(平成26年6月18日一部改正)

○弘前大学医学研究科規程

寄附講座（地域総合診療医学推進学講座）の設置に伴い、教育研究分野及び授業科目の新設を行うため、上記の規程の一部を改正した。

(平成26年6月20日制定)

○国立大学法人弘前大学第3期中期目標・中期計画策定会議要項

国立大学法人弘前大学における第3期の中期目標及び中期計画を策定するため、上記の要項を制定した。

弘前大学学報第123号

弘前大学総務部広報・国際課
036-8560 弘前市文京町1
電話 (0172) 36-2111